

- ・平日朝ラッシュ時(7時半～8時半)の新水前寺駅前電停(通町筋方面)では、**満員により次の電車を待たなければ乗車できない状況が発生。**
- ・そこで、折返しポイントを活用し、輸送需要に応じて神水交差点や新水前寺駅前電停での**折返し便を新設。**
- ・加えて、新水前寺駅前電停においては、JRから乗り換える利用者が多いことから、**到着する電車の時間帯に合わせたダイヤに設定。**
- ・**令和3年（2021年）11月1日（月）～12月3日（金）**の期間で試験的に運行を行い、効果検証を実施。

## 【効果①】混雑緩和（乗車率の改善）

- ・最混雑区間（新水前寺駅前電停～味噌天神前）の乗車率が、**15%改善（113%⇒98%）**し、**全ての区間で100%以下へ低下。**

【朝ラッシュ時（7:30～8:29）における区間別運行本数及び乗車率の変化】

区 間	運行本数	乗車率
(最混雑区間) 新水前寺駅前電停～味噌天神前電停	19本 ⇒ 22本	113% ⇒ 98% (▲15%)
河原町電停～慶徳校前電停	9本 ⇒ 10本	105% ⇒ 95% (▲10%)

## 【効果②】待ち時間の短縮

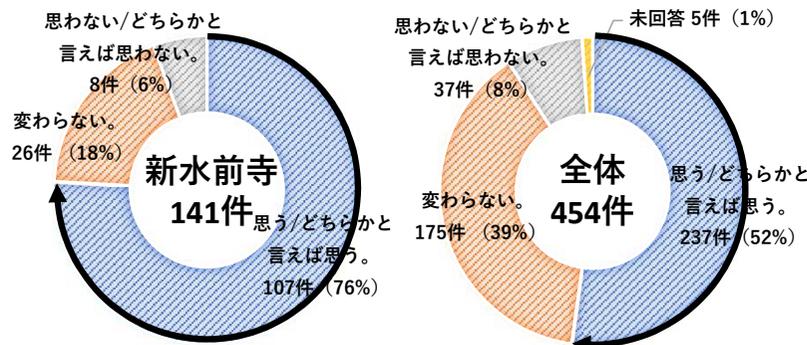
- ・朝ラッシュ時の新水前寺駅前電停で、次の電車を待つ利用者が、  
1便平均 **約8人⇒約3人へ改善（▲5人：▲60%）**
- ・JR到着直後の便においては、  
1便平均 **約11人⇒約1人へ改善（▲10人：▲90%）**



## 【効果③】利用者満足度の向上（利用者アンケートより）

【調査日】令和3年12月6日(月)～10日(水)  
【対象者】平日7時半～9時の市電利用者  
【回答数】454件

【問：市電は利用しやすくなったと思いますか。】



- ・朝ラッシュ時に新水前寺駅前電停を利用している人の**約8割が市電を利用しやすくなったと回答**
- ・全体でも**約5割が市電を利用しやすくなったと回答**

## 【課題・改善点】

- ①運行面
  - ・運行間隔が短く **後続車の遅延が発生** ⇒ダイヤを見直し対応
- ②ダイヤ（便数）
  - ・折返し便の**利用者が少ない時刻が判明** ⇒便数を見直し対応
- ③乗務員確保面
  - ・運行時間が伸びたため、**時間外が増加** ⇒R4.4月に運転士を3名増員し対応

- ・混雑緩和や待ち時間短縮の効果が確認でき、かつ利用者ニーズも高いことから、試験運行中に確認できた運行面やダイヤ（便数）を一部改善し**本格導入を行う。**

- ・導入時期は、乗務員不足が解消し、新学級が始まる**R4年4月**